

序

所報第3号を発行したのは今年の4月でありましたが、今年から私共ももう少し勉強して、年2回発行に向かって努力することにしました。第4号はこの所産です。

この半年は、建築界にとっては忙しい年でした。3月27日のアラスカ地震、6月16日の新潟地震と、二つの大災害を伴う地震があり、それがいずれも、地すべりまたは液化現象という建築物の足をさらうような特殊の被害を出していることは、そのまま、われわれ自身も足をさらわれたことにほかならず、土の研究が更に重視されなければならないことを示唆していると考えられましょう。

残念ながら、本号にはまだこのような問題に関する論文は出ておりませんが、いずれはこの方面に寄与できる日もあることを期待して、本号の序文にかえる次第です。

1964年10月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫